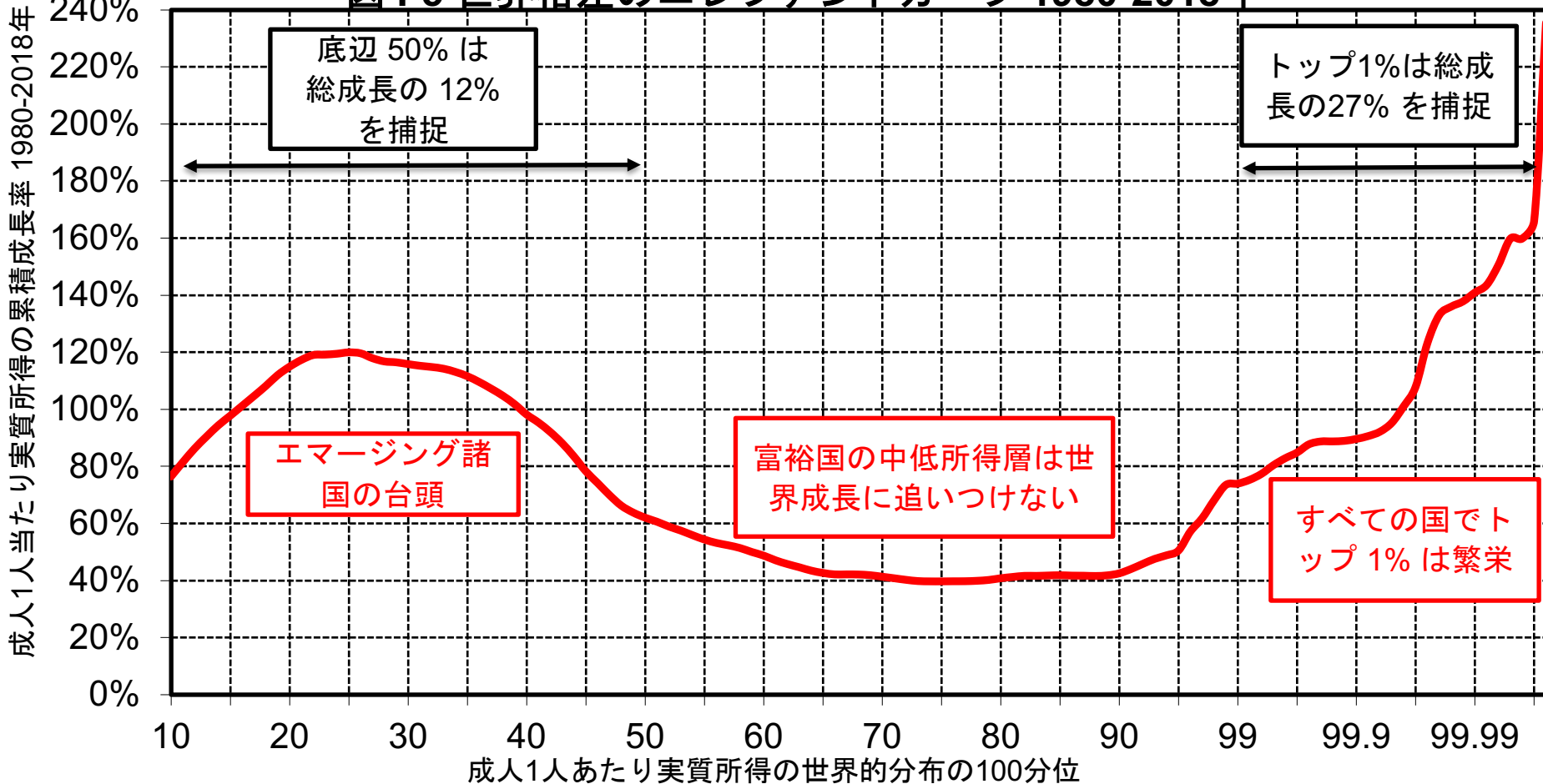


図 I-5 世界格差のエレファントカーブ 1980-2018年



解釈. 世界の底辺50%の所得は、1980-2018年に購買力が大幅に増大した (+60%から+120%)。トップ1%の所得はさらに高い増大を見せた (+80%から+240%)。その中間の階層の成長はもっと低かった。まとめると、格差は世界の所得分布の中間と底辺の間では縮まったが、中間層とトップの間では拡大した。出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology を参照。